

商 況

販賣旬報 第145號 昭和5年11月11日

製鐵所販賣部

北支那の鋼材市場 (其2)

5) 試みに商船定期船によつて門司を出帆すれば、3日目の拂曉雲煙漂渺の間に滿洲の咽喉大連の殷賑を望むことが出来る。大連は支那中部に於ける上海、支那南部に於ける香港と相並んで、支那北部に於ける鋼材市場の中樞を形成し關東州近傍及滿洲奥地に需要せられる鋼材の大部分は此處に輸入せられ此處より分布せらる。輸入商では三井、三菱、問屋では進和、島中、島羽、大信、紀信、原田、西川等の邦人鋼材商がこゝを舞臺として活躍してゐる。従前は邦商、華商並立し、夫々ストックを擁して商賣を續けてゐたが、最近銀の暴落と鐵價の下落の二重の打撃を蒙つて華商は枕を並べて倒産し、商權が悉く邦商の手に移つた。

滿洲への輸入は大連よりするものゝ外、少量宛としては秦皇島、營口、安東を経て南滿洲に流入し、浦鹽、綏芬河を經由して北滿洲に行き、又朝鮮を通つて間島に入る。大正12年以降5箇年間平均、滿洲全體への輸入高、即ち需要高は種別次の如くなる。(滿鐵臨時經濟調査委員會調)

軌 條	棒 鋼	型 鋼	鋼 板	短尺及屑	合 計
41,000 吨	33,000	8,000	10,000	14,000	106,000

滿洲に於ける鋼材の需要は滿洲交通の根幹をなす北ハルビンを中心として滿洲を横斷する東支鐵道、南大連、奉天を縦貫する南滿洲鐵道及び之を圍る大小の支那國有鐵道を包含する鐵道用材料を以て首とする。其他は關東州内の機械、造船工業、奉天兵器廠、建築材、農具家具材等之が殘部を滿す。現在の傾向として注目すべきは銀價の暴落と世界的經濟界の不況によつて齎された滿洲財界の沈哀が、鐵道及び各種事業の不振を招き、内地に於けるが如く漸次鋼材需要減退の歩調を辿らんとしつゝあることである。即ち滿洲第一の大鐵道滿鐵の如きは其弗籍である鐵道収入が銀の暴落による金建運賃の實質的昂騰、支那滿鐵競争鐵道の貨物爭奪、或は北滿貨物のウラヂオ送付の傾向等によつて、又撫順石炭は需要不振と價格下落によつて何れも減收を見るに至り、本年度總額 2,500 萬圓の減收と稱せられ、其結果思切つた經費節減、事業繰延となり、鋼材購入高の減退となつてゐる。

滿洲は嘗て 25 萬同胞の鮮血を以て彩つた所である。我國製鐵業が遠く其の鵬翼を海外に張るべき第一歩は、此の貴き犠牲を捧げた滿洲の市場を先づ我等の手中に收めることにある。今や大連埠頭より歐洲鋼材が殆んど影をひそめ燦然たるマル・エス製品が之に代りつゝこの理想が着々と實現に向ひつゝある。

6) 天津及青島。天津は直隸千里の大平原を控へ、舊都北平の咽喉を扼し、北支那商工業の中心、交通の要衝である。此處に集中する鋼材の需要高は次の通り。(中國海關華洋貿易總冊による)

年次\品種	軌 條	棒 鋼	型 鋼	鋼 板	短尺及屑	合 計
1926 年	4,000	10,700	2,700	6,900	9,900	34,200
1927 年	400	9,300	1,000	5,200	11,600	27,500
1928 年	600	7,000	1,100	6,600	9,300	24,600

山東省物資の供給地たる青島の需要高は總計次の通り。天津よりも少く、短尺屑類及棒鋼が大部を占めてゐる。

1926 年	5,800 吨	1927 年	4,900	1928 年	5,800
--------	---------	--------	-------	--------	-------

天津、青島は何れも歐米から見れば運搬に不便な僻地である。天津では歐米より來る大船巨舶は白河を遡ることが出来ず、河口數 10 哩の沖合に繫留して荷物を駁に積換へなければ、40 哩の上流にある天津迄行くことが出来ない、従つて運賃割高となり、むしろ上海邊の在庫品を購入するを有利とする場合が多い。又青島は貿易港として左程重要でなく、直接の船便が少い爲、コンフレンスは之にも亦多額の運賃エキストラを要求してゐる。其結果上海、香港大阪等が歐米品の中繼市場となり、兩地の問屋から店員を派して品物を買付け、結局天津では其半近くを之等の中繼市場に仰いて殘餘を歐米直輸入とし、青島に至つては更に著しく殆んど全部を之等の市場より滿して居る。斯くの如き歐米よりする運搬上の不便に對して一輩帶水の我が國は實に恵まれたりと云はなければならぬ。何となれば我國より天津へは 2,500 噸位の小船で差支なく、河幅 300 呎、水深 15 呎の白河を悠々遡り得るのみならず、天津は門司よ

り 4 日目、青島は門司より 2 晝夜にして達する頻繁に往復する定期船の便があるからである。

一般の小口需要に應ずる爲に棒鋼や屑類のストックを持つてゐる大小の鐵行がある。主なるものは天津では聚興成恒康泰、盛大、青島では義永昌、裕泰成等で何れも中國人の經營に屬する。鐵道材料の引合は原則として南京中央政府で行はれるが、品物は各所要地に揚げられる、即ち京奉、津浦、京奉、平漢の各鐵路用材の大部分は天津へ、膠濟鐵路の分は青島に輸入されてゐる。

7) 日支連絡船より門司出帆後 3 晝夜、船は濁流滔々たる楊子江口に達し、遡口 40 哩、吳淞沖から左折し支流黃浦江を行くこと更に 12 哩、左岸に上海が展開する。上海は年々人口激増し、漸次大都市の風采を具へ商工業股盛を極め行くが故に東洋のニューヨークと稱せられ、又各國の絶好の輸出向先たるが故に世界のダンピング市場とも云はる近年内亂相次ぎ。身命財産の安固を保し難き地方人士は安全地帯を求めて續々上海に移住する爲、其發展振り目醒しく、地價は騰貴し、家屋は舊型を改めて居る所々に改築せられ、都市は縦に横に擴張に擴張を重ねてゐる。世界的不況何處と云ひたげである。されば之に伴つて建築用鋼材の需要も急テンポの増進振を示し。其洋々たる前途と共に、貧弱な支那市場に一偉觀をなしてゐる。鋼材需要状態を輸入統計に就いて見れば（上海日本商工會議所編、上海貿易明細表に依る）

品種\年次	棒 鋼	山形鋼	工、溝、丁形鋼	軌 條	鋼 板	短尺及屑	合計
1927 年	20,000	3,000	2,000	1,000	15,000	39,000	80,000
1928 年	26,000	6,000	2,000	2,000	23,000	91,000	150,000
1929 年	47,000	10,000	4,000	5,000	24,000	91,000	181,000

鋼材輸入商としては中華公司、求新廠、元昌公司等が大量の在庫を擁して活躍し、問屋としては新順泰、新仁昌、蔡仁茂、正大祥、瑞新順、怡生、可熾、源昌、裕記、合昌等がブロードウェイから蘇州路にかけて一帯の金物町を作つてゐる。同地に於いて使用される建築用鋼材に就いて注目すべきことは、

(イ) 鐵筋バーとして慣習上 Corugated bar のみを使用してゐる爲、使ひなれぬ Plain bar を使用することを喜ばないこと。

(ロ) 鋼材のサイズでは吋寸法のみが行はれてゐる。之を耗寸法ものに變更して使用せしめることは、傳統を墨守し、各國の競争激甚な同地では可なりの難事と思はれること。

(ハ) 上海の建築請負業者は多くの場合外國人技師の監督を受けるため、技師は自國品を奨励し、又請負者も後のトラブルを虞れて、從來使用の經驗のない日本品を進んで使用するを控え、又秘密口錢の關係より外國品奨励の傾があること。

(ニ) Stock deliver の契約が多いこと等である。

8) 以上を以て北支鋼材市場を概觀した。其輸出市場としての見込は見る人の如何に任す。只其の老成なる土地と人口に囁せられる洋々たる鋼材需要の前途を想ふ時、單に現在の需要僅少の故を以つて之を看過し能はざること、及び同地への輸出上我國が最も地理的條件に優越し、支那買手も亦取引の手近に行はれることによりて得る利益を知悉せることは、現在の販路開拓の困難あるを以つて之を抛擲するの尙早なるに留意すべきであらうと思ふ。(完)

昭和 5 年 10 月中普通鋼材輸出高 今月から大連向定期契約が始まつた外、上海内外綿花材料、浦鹽向タンクプレート等の大量輸出契約が行はれた。數量次の如し。

向 先 別	大連及牛莊	天 津	上 海	青 島	漢 口	浦 鹽	ヒリツピン	合 計
10 月	1,234	152	410	197	30	512	—	2,535
6 月以降累計	3,564	448	1,017	197	103	1,819	62	7,210

中板共販組合成立 鋼板界に於ける統制組織の出現は不況の打撃が最も徹底的であるだけに永い間各方面から待望せられてゐた所で、官民メーカーも既に 7 月頃より數度の會合を繰返して意見の接近を計つたが、未にも何等の決定を見ず、現状に放任するの止むなき有様に立至つたので此際種々の困難を伴ふ厚板を別除し、せめて中板のみの統制をとるの得策なるを思ひ、現在我國に於ける中板製造業者たる製鐵所と東海鋼業の 2 社で共販組合を組織することに決定した。其の統制の方法は大體次の如く去る 10 月 27 日成立と同時に實施せられることになつてゐる。

1、共販の範圍に屬する品目は厚さ 3 耗以上 6 耗未満の中板（耳付、切板、定尺 1 切）。

1、註文は製鐵所の有する定期契約を除き總て東海鋼業に於て受付ける。

1、東海鋼業に於て受付けた註文の内一定量を東海鋼業の割當分として優先的に控除し残りを製鐵所の割當に充當する。

1) 値段は原則として月 1 回兩社協議の上共通値段を建てることとする。

中板は4.5耗を淺野及川崎で極く少量生産し得るのみで今の所製鐵と東海の獨占分野であるから、兩社の此の協調に依つて中板市場は全く安定を得ることとなるであらうと各方面から好感を持たれてゐる。

10 月中三港輸入状況— 1 萬 5,000 吨附近を彷徨 先月に比して殆んど不變。總計數量も前月より 600 吨を増したのみである。棒鋼では丸鋼が減じたが猶 700 吨の入荷を見た、型钢は取り立てゝ云ふ程の事もないがどうしても 200 吨 300 吨と云ふ數字からは離れることが出来ない模様である。只鋼板 (0.7 耗以下) が俄然 1800 吨近くの入荷を見て驚異的となつて居る、内容は 28 番、30 番の $2\frac{1}{2} \times 6'7'8'$ と云ふ長尺物が大部を占めて居る。鉄力は内地の不況は側目に睨んで例の通り規則的輸入をなして居る。線材も歩一步減少して來たが一寸芽を吹くと恐らく此儘では濟まずまい。

東西市況—頭重 荷動依然不振。市中は勿論、地方も此不況により疲弊の爲買氣銷沈の有様である、特に東北地方を控へた東京では最早此處が最後であるのに、成績香しからず、それが爲めあらゆる統制と必死の我慢も此頽勢には勝てず何となく頭重の感を懐く様になつたと傳へられて居る。

それに明治節が過ぎ冬の香が日一日と濃厚になるに連れて「節季」と云ふ身を引き緊める蒼白い觀念が誰れの胸中にもチラリホラリと往來し初めては少くとも先行樂觀材料にはならないと云はれて居る。搗て、加へて海外が全般に 4.6 志安と云ふ面白からぬ材料を提供して居るので一層市場の氣持を悪くして居る。

東京市況

丸鋼 6mm は注入によりて引き緩みの情勢となり、9mm は前旬以來の値頃を保つたまゝ動かす、大手筋も 6 圓 10 錢を頭張つて居る模様である、問題はベース物である、メーカーの態度は現在一絲亂れず、これには何等の不安も感じて居らないが、此賣行不振の際、目前に迫つて來た不需要期の向背に就て一抹の暗影を感じて居る爲め保つとは云ふものゝ弱腰たるを脱れぬと云はれて居る。

角、平鋼 角は 1938 の好調を除いては不相變安値の態度を改めず、平は變らず。

型钢 中型等山は未だデリバリーの不順調により相當の値段を保つて居る、大型等山も品薄で睨り、不等山は弗々と品薄品切れが現れ初めたが未だ伸力はなく、溝形は 2×4 を除いてはどうやら此邊で喰ひ止つた模様と云はれ前旬來の $2\frac{1}{2} \times 5$ も睨りである、工形の 18" 以上は品薄で好調の外前旬と不變。

鋼板 3.2 以下消化と入荷薄により再び引返し氣味となり 6mm 以上は何處まで行くか見當も付かず氣迷ひの状態を續けて居る。

大阪市況

丸鋼 生産分野寸法ものは暴風の後の静けさといふ感にて相場は 60 圓内外に落付きを見せて居る。中丸ものは現品薄にて幾分高値を保つてゐるやうであるが目先き市場一服の氣配は脱せられまいと見られてゐる。兎に角實需は依然起らない模様で偶々小口ものに對しては供給者の猛烈なる無謀競争に花を咲かすのみと云はれてゐる。

角、平鋼 角鋼は總じて在庫薄なれ共元來需要鈍き材料なれば市況にはさしたる影響もなき模様である。平鋼は厚もの 3 吋幅以上のものは品薄にて 70 圓内外の相場を持續し其他は頃日伸鐵の整理品等ありて割安ものゝ仕入れ容易なるため 65 圓見當の下値となり市場満腹の體といはれてゐる。

型钢 賣行きは概して鈍い。溝形鋼、工形鋼共在荷状態は前旬と變りなく一般に當所定期約定品出廻り順調に依然妙味なき商狀を呈して居る。山形鋼小型物は現品薄にて 75 6 圓と相當の値段を辿り中型ものは何時も出來合品市場進出のため餘りあせる必要もなく 66 7 圓搦みに取引されて居る。大型物は品拂底なれ共市況には影響少く従つて相場も釘付け化されて面白味に乏しい。

鋼板 一中板は依然既報の如き妙味なき商狀を繰返し従つて相場も風なきに落ちる秋の葉の如くわけもなく下押す様は一抹の哀感を覺ゆると云はれてゐる。厚板は皆目賣れない。

線材 目下の呼値は 大陸物 1 英噸 83 圓 當所及び神戸製鋼品 1 吨 80 圓である。

最近外註品入荷弗々であるやうであるが在庫薄の市場には燒石の水の有様で問題にならず相場は相も變らず反騰氣勢を改めず遂に製品安に原料高の奇現象を呈するにいたつた。兎に角、既報の如くこの高相場に調子づいて秋風にあてられまいぞとの氣分は各問屋間に益々濃厚となりつゝある模様である。

鐵力板 相も變らず安値覗ひの當用買のみにて不需要期近接と共に人氣は次第に弱りの態である、只石油罐製造方

面よりの注文は相當あるやうであるが、これも周境の不良を移して市場にはさしたる影響をも與へない有様と云はれてゐる。

販賣旬報 第146號 昭和5年11月21日

製鐵所販賣部

契約品の引取遅滞及積出遅延の處理に關し追加 去る10月8日の11、12月渡先物協議會に於て決定せられたる11月積より實施せらるべき「契約品の引取遅滞及積出遅延の處理」に付疑問の向もある由に付爲念下記を末尾に追加す。

下記 4、規格品、官廳用品には當分の内適要せず。

帶鋼製作の開始 荷造用、自轉車のリブ、時計のぜんまい果ては錠前、蝶番、石鹼のケース等に至る小加工品にまで使用せらるゝ帶鐵は近年其の需要著しく殖へ1箇年4、5萬噸の多きを數へる様になつた、而して其の量の總てを擧げて海外に供給を仰いで居る。何様内地の生産皆無の爲め勢ひ外商の横暴吊上げ頻々として行はれる爲め之を生命として生活して居る内地の群少小加工工場業者は常に材料に脅かされ不安の裡に仕事を續けて居る。本所は此の現狀に鑑み愈々製造の計畫を樹て不取敢先般ホットロールの見本品を若干市場へ送つて觀た處品質形狀共毫も外品と遜色なく立派に使用し得るとの確信を得たから近く注文獲得と共に將來はどしどし製品を市場へ送ることにした。輸入防遏自給自足を使命とする本所としては誠に慶賀に堪えない次第である。

12、1月先物協議會 11月7日大阪平和俱樂部に於て開催新舊販賣部長の挨拶並に問屋側代表よりの謝辭終ると共に本論に入る今日は前月に比し入電安のため彼是と要求あるかと思ひしも當所先物値段が遂に下廻り居るため別段問題もなく次に掲ぐる通り決定を見た、なれども鋼板中4、5耗及3、2耗厚のものに付ては共販成立の結果黒薄鋼板及線材同様本月より先物中より姿を消す事になつた鋳力板は輸入と比し種々問題ありしを以て決定を見ず東京に持越し解決するに決定。

12、1月積先物協議會

種品\區分	入電冲着	河岸着値段 (爲替%—%)	希望	決定	備考
丸鋼 ベース	5—4—0	71.19	65	¥65	据置
〃 徑 9mm	5—8—6	73.38	65	65	〃
中小型山形鋼	5—4—0	71.19	67	67	〃
大型山形鋼	5—1—0	69.73	70	70	2圓下ゲ
工形鋼	5—1—0	69.73	70	70	〃
溝形鋼(吋サイズ)	6—0—0	78.94	70	70	〃
〃 (耗サイズ)					
鋼板 6mm 以上	5—18—0	77.97	67	70	据置
〃 2.3mm	6—4—0	85.88	82	82	
〃 1.6mm	6—7—0	87.33	87	88	
鋳力板 100 lbs	0—19—0	10.10	}	未決定	
〃 170 lbs	1—14—8	18.37			
鋼板 4.5mm	5—18—0	77.97	}	参考	
〃 3.2mm	6—2—0	79.91			
線材 B.W.G.No5	6—8—0	75.65			
黒薄鋼板	12—10—0	151.83			

日本黒板共販理事會 12月積に關する

理事會は15日東京丸ノ内會館に開催。

1) 12月積賣出數量

内地向 9,000噸 輸出向 3,000噸 計 12,000噸
前月に比し内地向賣出は 1,000 噸減とした譯である。

此數量に關しては色々の議論も出て共販自ら賣出數量を減ずるは市場へ悲觀の材料を提供するのではあるまいかと云はれたが、先月の申込其他四圍の狀勢を察する時は此際メーカーが自發的に慎重の態度に出てる方が市場を好轉せしむる機縁となるを以て一層其好果を得る爲次の條件の下に此數量と決定した。

a、内地向は 9,000 噸以上は絶対に引受け

ざること b、積出前の荷渡は如何なる理由あるも是を受けざる

2) 値段 内地向 常盤會希望として東京側は据置、大阪側は3圓下げを申出たが遂に据置と決した。輸出向海外はコンフレンスの値下もあつたが、之が實質的に影響するには相當の時日を要するを以て、其時は其時に應ずるとして今回は下記の通り決定した。 川崎 121圓 八幡 118圓 (216枚にて114.50) 徳山、日鋼 120圓

猶海外は12—7—3にて280枚物があるとの事であるが、聲のみ聞いて之に對抗するの必要もなく結局此の現物が入荷してから對策を講ずることに決定した。

3) 製鐵所の枚數變更 製鐵所は1月積より1噸260枚を1噸268枚に改正することになつた

東西市況—不安 11月も未だ央を越した許りと云ふのに氣分は最早暮の様で荷捌きの具合は1月の様に閑散だと云はれて居る爲め先行不安の心持が何處となく動いて居るのが觀取される。

従つて相場としては如何に品掠れ物でも環境に押されて反撥の力もなく、それに一般が斯ふ永く損許り續くと儲かるのが寧ろ不思議の様に思はれて、一寸でも利が乗ると息セキ切つて賣り逃げる事に腐心する爲め、氣持の上の空氣を一新する様な材料が出て來ぬ限り轉機は望めぬと云はれて居る。

東京市況

丸鋼 6mm の状態不變、9mm の成行値段は一段安となつたがこれは今迄の相場が寧ろ無理があつたもので此邊が大勢ピッタリして居るそれに踏み物も大體一巡したので恐らく此處らでガツチリと底堅めするものと見られて居るベース物の成行は需要不振や其他の原因が薄雲となつて全般を蔽ひ、どうもハツキリとした氣持とならず遂にメーカー値段に迄なつた。50mm 以上も思はぬ注入があつたりして、これまた小甘い商状と云はれて居る。

角、平鋼 角の鈍状に變りなく 19, 38 は品掠れを傳へられながら僅少の入荷の爲め 2, 40 錢の引緩みとなつた事程左様に弱腰である。平は 1½ 以下當所品の若干の入荷にも堪えずデリ食状態を現出し、伸鐵の安値物が之に油を注いで益々軟化して居ると傳へられ、3' 以上は保合つて居る。

型鋼 中型等山は消極的の需給の調和により駢りの域を守り、大型物は定期の入荷氣構へにより小甘く、不等山も追々と品薄になり 3/8×4×6, 2½×3 など 7 圓 30 錢拂みを保つて居る、溝形は 2½×5 前旬の儘駢りを傳へて居る外目星しいものもなく沈滞模様である、工形も最早一時の面白味は消えて盆槍の商状を續けて居る。

鋼板 3.2mm 以下は前旬の好調を續け、そう悲觀はされては居ないが、6mm 以上は益々急落歩調となり、昨日の相場が今日は當にならぬ程で殆んど底無し沼に足を入れた様で、何處まで行くか見當も付かぬと悲觀されて居る、何とかせずはなるまいと云はれて居る。

大阪市況

丸鋼 商況は前旬と變りなく一向冴えぬ。各問屋は自重的に手持控へのため市場在庫薄を傳へられてゐるが見るべき需要なく従つて相場は先づ居据り状態と云はれてゐる。中型丸鋼は目下定期もの値段に比し幾分高値もの入荷はあるも先般來の品掠れの爲め漸時消化され相場は 70 圓内外を持続して居る。

角、平鋼 角鋼入荷一順の態にて 32mm 及び 38mm は直ちに品切れとなり異彩を放つて居る。平鋼は漸時供給過剩の兆濃厚となり軟化著敷く、需要の大部分は伸鐵ものに依り充たされて居る品だけにその対策が注目されて居る

型鋼 山型鋼小型ものは引續き伸鐵の安値と釜石及び當所品の入荷と相待つて、相場は各寸法共稍低落の度を深めた感があるが中型及び大型との對比上自然への復歸と見られて居る。中型ものは不相變部分高を示し大型ものは引續き賣行不振。工形鋼、溝形鋼共賣行は矢張不振を免れず目下の處は何等の變化もなき様である。

鋼板 1.6, 3.2mm は定期の入荷に一步引き弛み僅かに 2.3mm が光つて居る。4.5mm は稍落付き 6mm 以上は今尙混沌たる有様と云はれて居る。

線材 目下の呼値は 大陸物 1 英噸 86 圓 當所品及び神戸製鋼品 1 噸 82 圓である。

神戸製鋼所積出遅れに加へ當所のモーター故障の報に市場愈々品掠れを現出し先旬來 1 圓方上放れたと云はれてゐる。自重心に乏しき商人の食指は早くも外註に動いたものゝ如く傳へられてゐる。

鐵力板「品質を考慮せず徒らに價格の低廉なるものにて當座を誤魔化す」といふことは日本商人の通弊とされて居るが昨今の如く不景氣だと、ついこふした根性を益々露骨にあらはすものである。我鐵力板界も御多聞にもれず斯界需要の大宗たる罐詰製品にも割安のスクラップにて間に合せ、正品級の如きは見向きもされないとは只鐵力板界のみならず容器の品質そのものが罐詰の生命ともいはれてゐる罐詰界の將來のため歎かはしきことだと云はれてゐる。

販賣旬報 第 147 號 昭和 5 年 12 月 1 日

製鐵所販賣部

過去 3 ヶ年間の鋼材供給状態 (其 4)

3)、**型鋼** 型鋼にも其種類は多々あるが、此處では其骨幹を形成する、等邊山形鋼、不等邊山形鋼、溝形鋼、工形鋼の 4 種に就て其變遷を見ることにする、猶「附」として特に近來出色のシート、パイルを掲記した。

日本に於ける條鋼の需要を今の處大凡 100 萬噸と見當を付けて棒鋼の丸、角、平で 65 萬噸、型鋼の等邊、不等邊溝、工で 30 萬噸、シートパイルが 2 萬 5,000 噸其他として 2 萬 5,000 噸と云ふ數字である。

其内で此處に書こうとする型鋼の 4 種を記憶に便する爲め常識的數字で表はすと、等邊が半數の 15 萬噸、不等邊溝、工が各 5 萬噸を基準とすると思へば大なる誤はない。

等邊山形鋼

寸法\區分	總供給數量				3ヶ年平均 增(減)率%
	昭和2年	同3年	同4年	3ヶ年平均	
25mm	2,032	3,256	4,149	3,145	43.84
40	10,803	11,348	16,548	12,899	25.44
45	2,890	3,208	2,521	2,873	(5.21)
50	17,281	23,564	19,536	20,127	9.64
65	21,927	36,774	24,935	27,878	17.76
75	35,100	42,841	36,017	37,986	3.06
90	15,300	16,567	18,665	16,847	10.47
100	14,226	14,768	15,677	14,890	5.00
130	8,316	6,755	9,464	8,178	10.67
150	19,154	15,978	17,227	17,453	(4.38)
200	5,851	4,777	870	3,833	(50.08)
其他	302	1,095	2,012	1,136	173.33
計	153,182	180,931	167,621	167,245	5.38

a. 等邊山形鋼 型钢の半数以上を背負つて立つ等邊山形鋼の推移を表て現はすと左の通りである。此の表は以前にも断つた通り主要なる代表的寸法に聚約したもので、此表では只の 12 寸法になつて居るが實際に供給された寸法は、昭和 4 年に於て、吋寸法 15 種、耗寸法にて 16 種合計 31 種の多岐に互つて居る。

また耗化が叫ばれて可なり古いにも拘らず昭和 4 年で見ると吋寸法が 11 萬 3,482 噸に對し耗寸法が 5 萬 4,439 噸で、未だ未だ吋寸法が耗寸法の倍以上の顧客を持つて居る、耗化の前途も亦遼遠である。

猶是等寸法の詳細や其變遷に就ては「鋼材年報」第 4 號第 1 表、第 3 表、第 5 表第 8 表に詳しく出て居るから其を参照されると一層明瞭となるであらう

扱て愈々其内容に移るが、何と云ふても手頃の 75mm 断然他を壓迫して 4 萬噸近い數量を消費して居る、其に亞ては 65mm、50mm などあるが大體に於て中型物が其中樞を形成して居るのである、此は其用途から云ふて大型物が主として建築物に限られて居るのに反し、中型物は小は火の見櫓から各種の電柱代用の塔を初め建築は勿論雜多のものに使用されるからであらう。「其他」と云ふのは此寸法以上と寸法不明とを合したものである。次に増減率に就いて考へると數量を考慮に入れて見る時は 65mm が 1 等目立つて増加して居る、之に反して大型物程減少の傾向を馴致し特に 200mm の減少の著しいのが觀取される。總數量の増加率も大體に於て常態に推移して居るが年度別に於て昭和 3 年が特に激増して居るのは勿論彼の中間景氣が影響して居る事が主要な原因ではあらうが其の内でも 100mm 以下の中小型の増加したのは主として民間製鋼業者の奮闘によるものである、即ち鋼材年報第 1 表の示す通り昭和 3 年の民間製造は昭和 2 年に比し一擧に 6 萬 3,000 噸の増加を來したのである。

b. 不等邊山形鋼 次は不等邊山形鋼である。之は殆んど製鐵所と輸入で其需要を充たして居るもので只 3×4 及び 3½が若干日本鋼管により供給されて居る、猶 3×5 が同じく日本鋼管で出來ると云ふ噂であるが未だ市場へは出て來ない模様である。

不等邊山形鋼

寸法\區分	總供給數量				3ヶ年平均 增(減)率
	昭和2年	同3年	同4年	3ヶ年平均	
2½" × 2"	1,410	1,077	2,083	1,524	34.89%
3 × 2	3,849	1,917	2,203	2,656	(17.64)
3 × 2½	1,398	1,678	2,415	1,830	31.98
5½ × 3	2,760	1,400	4,239	2,800	76.76
4 × 3	7,736	5,049	11,295	8,027	44.49
5 × 3	6,382	5,324	8,843	6,850	24.76
5 × 3½	5,876	4,698	9,347	6,640	39.46
5 × 4	443	933	1,128	835	65.76
6 × 3½	3,993	1,906	2,432	2,777	(12.34)
6 × 4	8,333	7,493	8,565	8,130	2.12
其他	1,206	1,481	890	1,192	(8.69)
計	43,386	32,956	53,440	43,261	19.06

3ヶ年を平均した合計は 4 萬 3,000 餘噸である、之と對比する爲め昭和 5 年上半期を見ると内地生産 1 萬 7,066 噸、3 港輸入 4,214 噸合計 2 萬 1,280 噸(輸入でお断りしなければならぬが之は神戸、大阪、横濱の 3 港合計で全國の輸入は之より、いくらかは増加するであらう)、で下半期も之と同様と見ても昭和 5 年は 4 萬 2,000 餘噸となつて此 3ヶ年平均數字とオツカツであるが、昭和 4 年に比すれば 1 萬餘噸の減少となる。然し實際はもつともつと減少して居るであらうと云ふのは輸入だけでも 7 月より 10 月迄の 4ヶ月の 3 港合計が只の 516 噸であるから或は 4 萬噸以下になるのではあるまいか。

寸法を見ると總數量が少いだけであつて 1 萬噸を突破するものは一つも見出せず、首位の 6×4 でも 8,000 噸近所である、然しこれは後で述べる溝、工に比すれば未だ未だ高低の多い方である。流石に民間會社が狙つただけであつて 4×3、3½×5、3×5 は 6×4 に次いで主要な部位を占めて居る。此 4 寸法を除くと他は段ちがいて 3½×3 でも一擧に 2,800 噸と云ふ激減振を示して居る。増減率も 3½×3 が異狀の増加であるが此は基本となる數量が少ないので大

した事もないが、前記の 4×3, 3½×5 増加率も目立つて多くなつたのである。

c. 溝形鋼 此溝形鋼と工形鋼は共に主として建築材料及び橋梁材として使用される、斯く其用途が共通である爲め其趨勢に於ても相似の點が多いのである。

溝 形 鋼

寸法\區分	總供給數量			3ヶ年 平均	3ヶ年 平均 増(減)率
	昭和2年	同3年	同4年		
3½"×1½"	1,296	901	934	1,044	(13.41)%
4×2	4,817	3,117	3,183	3,706	(16.59)
5×2½	3,471	5,165	4,432	4,359	74.93
6×2½	3,409	3,452	2,899	3,253	(6.65)
6×3	7,365	4,498	6,487	6,117	2.64
7×3	3,103	2,592	1,841	2,512	(22.67)
8×½	2,017	2,210	2,455	2,227	0.76
8×3	2,953	3,663	3,263	3,293	(0.27)
9×3½	5,020	3,316	3,377	3,904	(16.07)
10×3½	6,503	4,625	7,391	6,173	15.48
12×3½	2,676	3,285	5,993	3,986	52.68
15×4	8,360	2,432	3,564	4,786	(12.28)
其 他	4,228	2,210	1,353	2,597	(43.25)
計	55,218	41,466	47,177	47,954	(5.57)

此も當所のみの供給にては不十分で平均して其 3 分の 1 位は輸入に俟たなければならぬ。それで統制力のない輸入が年によつて震幅を大にするので (鋼材年報第 1 表、其 1、其 2、其 3、参照)常に不安定に置かれて居るのは已むを得ない状況である。

即ち昭和 3 年に於ける棒鋼其他が所謂中間景氣を謳歌して居た時代に、昭和 2 年の過剰輸入に悩まされて悲鳴を擧げ溝、工は山形と板に代用される傾向になつたので將來望みないとまで云はれたが、此度は逆に昭和 4 年は前年の極端な輸入減により (數量は年報第 1 表其 2 参照) スツカリ調子付き、棒鋼

の反動安を横目に睨んで、好い氣持になつて、昨日の泣聲をツルリと撫で、「輸入の面白味はこんな所にあるんです」とホザいたものである。然しこうして年毎に泣いたり、笑つたりすれば結局は神經衰弱になる、やはり平靜な推移こそ、業界を健全に發達せしむる所以ではあるまいか。3ヶ年平均の寸法別では 10×3½ と 6×3 が 6,000 吨臺にある外は他の鋼材程幅がなく、概して平均して使用されて居る傾向がある、増減に於ては「計」に於て 5%餘の減になつて居るがこれは昭和 2 年の供給數量異狀に多きに過ぎた事も考慮に入れなければならないと思ふ。各寸法の増減の著しいのも思惑輸入の祟りと考へられる。

d 工形鋼 前項述べた通り工形鋼は下表に見る通り至極溝形鋼に酷似して居る。

工 形 鋼

寸法\區分	總供給數量			3ヶ年 平均	3ヶ年 平均 増(減)率
	昭和2年	同3年	同4年		
4"×3"	1,061	636	1,040	912	11.73 %
6×3	2,968	3,586	2,377	2,977	(6.45)
7×4	2,253	3,330	3,186	2,923	21.74
8×4	1,802	3,539	3,290	2,877	44.68
9×4	3,197	3,489	4,518	3,735	19.31
10×5	4,339	4,461	2,864	3,888	(16.50)
10×5	5,887	3,240	7,039	5,389	36.15
12×6	5,904	3,858	8,505	6,089	42.90
14×6	1,777	1,329	2,200	1,769	20.17
16×6	7,292	3,371	3,773	4,812	(20.92)
18×7	7,062	4,084	7,008	6,051	14.72
20×7½	3,589	2,905	2,800	3,098	(11.43)
24×7½	3,936	3,429	3,046	3,470	(12.03)
其 他	919	444	2,580	1,314	215.20
計	51,986	41,701	54,226	49,304	5.14

先づ數量から云ふても溝形鋼の 3年平均の 4 萬 7,900 吨に對し工形鋼が 4 萬 9,304 吨と殆んど同じである。

溝形に 6,000 臺が 2 寸法あつた様に工形鋼も 12×6 と 18×7 の 2 寸法がやはり 6,000 吨臺にあるのも奇縁である。其他の寸法が大なる開きが認められなく平均して居ることも似て居る。

年別の「計」でも昭和 2 年が甚しく多い事や次年がまた著しく減少して、昭和 4 年増加した傾向まで一致して居るのも不思議である。未だ相似の點を求めると寸法別の増減も 16×6 が 20%も減じて居ると思へば 12×6 が 42%も増して居る様に各寸法比較的大きな増減を示して居るなど溝形鋼と酷似して居る。

斯く考へて來ると溝形と工形の趨勢と云ふものは殆んど不可分のものと思はれる。従つて其將來の運命も兩種は同様ではあるまいか、然して兩者共復興建築及び橋梁新設の一段落と共に一時的には決してよい傾向を持つて居ないと云ふことは一般から認められて居るが、實際の結果は未だ論ずるに早く少くも 2、3 年の時日を要することと思ふ。

附、シート、パイル 此は屢述した様に全部が外國品であつて近々當所品が市場に出る迄は、其蹂躪に委せるより外策はない、然し其需要は年々増加の傾向にあつて將來の運命も増大するとも減少する虞はあるまい。

此を使用し初めたのは極最近に屬し、一般にハツキリ其存在を認識せしめたのは昭和の御代になつてからである。

どんな具合に増加したか、鋼材年報第1表、其1、其2、其3から拾つて見ると

昭和2年	昭和3年	昭和4年	3年平均	昭和5年(自1月 至10月三港)
18,022 吨	23,767 吨	28,551 吨	23,446 吨	23,446 吨

となつて、3ヶ年平均から眺めて近來の需要が大凡2萬5,000吨近くあるものと推定される、昭和5年も三港だけで10月迄の合計がやはり2萬3,446吨と不思議にも3年平均と同じ数字になつた、恐らく今年も2萬5,000吨近くはあるであろう。然して輸入品として、ラルゼン型(獨) ラツカワナー型(米) テル、ルージュ型(佛) ランサム型(英)、と云ふ4種が活躍して居る(昭和3年9月21日發行販賣旬報第70號参照)其輸入數量も大體此順序であつて、特にラルゼン型が最も使用されて居る様である。猶近來ヘツシエ型(獨)がイリス商會の手により市場に進出して來たと云はれて居る。

鐵製所第二次減産の件 本所は未曾有の需要減退に起因する市況の不振に順應する爲め本年度第二次減産の案を樹て來る12月1日より實施することとせり。就中主要なる品目に關する減産率次の如し。

重軌條類 本年度當初の計畫に對し 約4割4分減、中條類 約5割1分減、小條類 約3割3分減、
厚板類 約7割減、昭和5年11月27日 製鐵所販賣部長

東西市況一無氣力 日を経るに従ひ閑散の度は愈々深刻を告ぐるに至り、それに常の年と其實質に於て大なる相異を存する本年の年の暮が遠慮なく一步一步近いて來るので、非常な焦燥の感を抱かしめ萬事逃げ腰となつて來たと見られて居る。特に厚板の崩落は鋼材界全般に不安の影を投げたと云はれ此等弱氣材料が綜合されて平均して1、20錢の引き緩みを見せたと傳へられて居る。只特異として線材が極度の輸入減と内地供給不足により比較的好調を維持して居るが傳ふる處によれば、外注成立1萬吨の噂もあつて恐らく來年2月頃は復び悲鳴をあげるであらうとの事である、度し難き者よ汝の名は外注である、こんな事は是非噂だけに止まることを祈つて置く。

東京市況

丸鋼 賣れないと云ふ事實には勝てず必死の努力も空しく9mmは復々10錢搦み下押した。ベース物も同様に今の處は損得の境界で一揉み揉んで居る形勢で此儘納まるか此線突破するかは一に賣行如何とメーカーの腰の強弱に懸つて居ると見られて居る。一度其線が破られるとメーカーのコスト線と同様其後は一瀉千里行く處まで行かなければ落ちてまいと云はれて居る。

角、平鋼 角は當所定期入荷を豫想に19mm 38mmも下放れ形勢となり、其他も小甘し、平は厚板の異状の安値に影響されて切板の利くものは一段安を現出し環境面白からずと傳へられて居る。

型鋼 中型等山は今の處はそのまゝ安保合を續けては居るが、追々賣物が出て1月渡61圓の聲もあつて先行の氣持宜しからず一服の姿と見られて居る、大型はどうやら頰勢を喰ひ止めて居る程度、不等山も不振、溝形鋼は一頃の軟勢が漸く影をひそめ、手當薄の効果もあつて他に比しては下げ足も鈍くなつた様に傳へられて居る、工形は18"以上の大型物は先行の手當潤澤を眺めて盆槍其他も目星しいものもなく軟調。

鋼板 1.6mmは好調を持續して居るが3.2は荷捌き抄々しからず前旬とは稍異つた調子となり、4.5は厚板の煽りを喰つて崩れ6.0mm以上は全くの混亂状態となり、成行としては6圓とか5圓70錢とか云ふが、實際は指値次第で5圓1、30錢位とも云はれ、それも買手はなへ殆んど拾収すべからざる有様と云はれて居る。

大阪市況

丸鋼 製鋼業者の協調が保たれて居る爲め大體は底値の安定を得て居るが市況は寒さと正比例に閑散の度を増して居る、全く閑古鳥も鳴かぬ有様と云はれてゐる然し當所の減産は市場に好感を以て迎へられスピード時代で少し早いが來春を樂みにせられてゐる様子である。

角、平鋼 角鋼は變化なく平鋼は漸く市場満腹の態にて是以上は無理となつた模様で伸鐵物を受入れる元氣がない間屋も伸鐵屋も呻いて居る。當所製品の適時賣出しに今や伸鐵ものを市場より驅逐するにいたるであらうと見られてゐる。

型鋼 山型鋼中型もの區々の成行にて弗々取引されて居るが大型もの及び不等邊は鈍調。工形鋼は一時は一花咲きそんな底意を示して居たが需要の減退には不叶軟弱の氣配を越して居る。溝形鋼50×90は需要極めて少量ながら品薄の爲め¥1200と異彩を放つて居る、其他のものは定期契約の入荷と賣行不振に軟調。

鋼板 1.6、3.2軟調ながら賣行は先づ良いと見るべく2.3は拂底して¥900と上伸。6mm以上は全く賣れない。

線材 品拂底にて昂騰せしロット下界も製品安のため及びシンジゲート値下げ發表により茲許頭打状態と云はれてゐる。

鐵力板 不需要期接近と共に先安を見越して今尙漸落歩調を改めず。

11月上中下旬線材薄板鐵力板輸入速報

區分	上旬				中旬				下旬				
	神戸	大阪	横濱	計	神戸	大阪	横濱	計	神戸	大阪	横濱	合計	
品名	自10月29日 至11月8日	〃	自10月27日 至11月7日		自9日 至18日	〃	自8日 至17日		自19日 至28日	〃	自18日 至27日		
線材	B.W.G.No.5	760	102	—	862	516	—	181	697	51	—	—	51
	其他	75	308	—	383	3	103	21	127	171	—	—	171
	計	835	410	—	1,245	519	103	202	824	272	—	—	272
	11月計	—	—	—	—	1,354	513	202	2,069	1,626	513	202	2,341
薄板	0.7mm以下	301	50	—	351	559	—	—	559	41	—	—	41
11月	計	207	—	—	—	860	50	—	910	901	50	—	951
鐵力板	計	207	12	611	830	56	—	452	508	204	576	72	852
11月	計	—	—	—	—	263	12	1,063	1,338	467	588	1,135	2,190

東京大阪市中相場

寸法	上旬		中旬		下旬		寸法	上月		中旬		下旬		
	東京 11月 7日	大阪 11月 5日	東京 11月 15日	大阪 11月 19日	東京 11月 29日	大阪 11月 25日		東京 11月 7日	大阪 11月 5日	東京 11月 15日	大阪 11月 19日	東京 11月 29日	大阪 11月 25日	
	丸鋼							溝形鋼						
6mm	8.70	8.70	8.60	8.60	8.50	8.50	1/4" x 2" x 4"	6.70	6.30	6.70	6.40	6.60	6.40	
9	6.10	6.00	5.90	5.90	5.80	5.80	0.312 x 2 1/2 x 5	7.20	7.70	7.40	7.40	7.20	7.30	
12	5.90	6.10	5.80	6.20	5.70	6.10	3/8 x 3 x 6	7.00	7.10	7.00	7.20	7.00	7.20	
19	5.70	5.90	5.70	5.95	5.60	5.90	3/8 x 3 x 8	6.90	6.90	6.90	6.70	6.80	6.70	
25	〃	〃	〃	5.90	〃	〃	3/8 x 3 1/2 x 10	7.00	7.30	〃	7.00	6.90	7.00	
50	6.20	7.00	6.20	7.00	6.15	6.80	3/8 x 3 1/2 x 12	〃	7.20	〃	〃	〃	〃	
65	〃	7.10	6.30	7.10	6.20	7.00		工形鋼						
	角鋼							溝形鋼						
9mm	7.30	6.80	7.20	6.90	7.00	6.90	1/4" x 3" x 6"	7.00	7.80	7.00	7.60	6.90	7.30	
12	〃	6.90	〃	7.20	〃	7.20	3/8 x 6 x 12	8.50	8.50	8.50	8.40	8.00	8.20	
15	〃	6.80	〃	7.00	〃	6.80	0.28 x 4 x 8	7.00	7.80	7.00	7.60	6.80	7.40	
19	8.10	7.20	8.00	〃	7.60	7.00	0.35 x 5 x 12	8.00	8.00	7.90	8.20	7.90	8.20	
38	8.50	8.00	8.20	7.50	〃	7.40	0.36 x 5 x 10	7.90	8.50	7.70	8.70	7.60	8.50	
	平鋼							工形鋼						
1/4" x 1 1/2"	6.80	6.80	6.60	6.70	6.30	6.50	1.6mm x 3' x 6'	9.00	9.20	9.00	8.70	9.00	8.70	
1/4" x 2	6.70	〃	6.50	6.50	〃	6.40	1.6 x 4 x 8	9.20	8.80	9.20	9.10	9.10	8.80	
1/4" x 3	7.00	7.20	7.00	7.00	6.60	6.80	3.2 x 4 x 8	8.00	8.00	7.90	8.00	7.80	7.80	
3/8 x 4	7.40	7.00	7.20	6.80	7.00	6.70	3.2 x 5 x 10	7.90	〃	7.85	〃	7.70	〃	
1/2 x 4	〃	6.90	〃	〃	〃	〃	6.0 x 4 x 8	6.70	6.60	6.30	5.80	6.00	5.80	
	等邊山形鋼							工形鋼						
6 x 50 x 50	6.60	6.90	6.60	6.70	6.40	6.50	6.0 x 5 x 10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
6 x 65 x 65	〃	7.00	〃	6.60	6.35	〃	9.0 x 4 x 8	〃	〃	〃	5.90	5.70	5.70	
9 x 75 x 75	6.50	6.60	6.50	6.50	〃	6.40	9.0 x 5 x 10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
9 x 130 x 130	7.80	7.50	7.30	7.30	7.40	6.50		薄鋼板 (13枚)						
12 x 130 x 130	8.00	7.60	7.50	〃	〃	7.20	米	57	58	53	58	58	5.85	
15 x 150 x 150	7.50	7.50	7.40	〃	〃	〃	英	56	57	57	57	57	5.75	
	不等邊山形鋼							八	56	56.5	57	56	57	5.65
3/8" x 2" x 3"	7.20	7.20	7.30	7.10	7.20	7.00	米	鐵力板						
3/8" x 3 x 4	6.60	6.70	6.50	6.60	6.40	6.50	{170lbs	21.30	19.60	21.20	19.60	21.00	19.50	
3/8" x 3 1/2 x 5	6.70	6.80	6.70	〃	6.60	6.20	{100	11.70	11.50	11.60	11.50	11.50	11.00	
3/8" x 4 x 6	7.10	7.50	7.20	7.30	7.20	7.60	{170	19.00	18.50	19.00	17.80	18.80	18.00	
1/2" x 4 x 6	7.80	7.70	7.60	〃	7.50	〃	{100	9.90	10.00	9.60	9.80	9.60	9.70	
								{170	18.50	18.30	18.20	18.00	18.00	18.00
								{100	10.00	10.00	9.70	9.80	9.70	10.00
								線材						
								No. 5	81.00	80.00	82.50	82.00	81.50	81.00

備考 單位 100 kg につき(置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は吨當り。鐵力板は 1 箱當り。

昭和5年9月中國別輸入數量表 單位噸

品 種	國 別	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年累計
條及 竿鐵	丸、角及平形にして 徑又は幅15m/mを 超えざるもの	41	—	999	117	89	123	35	18	—	—	—	1,422	9,156
〃	(丸、角、平の もの其他)	202	105	1,176	38	20	10	27	381	—	—	9	1,968	23,864
〃	(テ ア ン グ ル 形 及 形)	548	24	132	150	—	—	—	—	—	—	—	854	18,687
〃	(其 他)	15	25	503	40	—	—	—	5	—	—	2	590	40,138
レ — ル	—	—	—	186	—	—	—	—	258	—	—	—	444	11,016
フイ ッ シ プ レ ー ト	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	812
ワイ ヤ ー ロ ッ ド	(巻きたるものに して徑5m/mを 超えざる物)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,021
〃	(巻きたる もの其他)	1	855	2,105	277	51	—	48	1,292	—	—	—	4,629	59,123
鐵 板	(金屬を鍍せざるものに して厚0.7m/mを超え ざる薄鉄板)	1	—	62	—	10	—	66	229	—	—	—	368	6,707
〃	(金屬を鍍せざるものに して厚0.7m/mを超え ざるもの其他)	606	—	133	—	—	—	—	104	—	—	6	849	25,830
〃	(金屬を鍍せざるものに して厚3m/mを超え ざるもの)	1	51	323	228	—	77	25	149	—	—	—	854	8,262
〃	(金屬を鍍せざ るもの其他)	1,540	—	416	66	—	—	2	137	—	—	—	2,161	36,662
〃	(錫鍍したるも の)葉鐵及葉鋼	1,626	—	13	—	—	—	—	2,157	—	—	104	3,900	58,586
〃	(亞鉛鍍したるもの)	31	—	—	—	—	—	—	122	—	—	69	222	1,887
〃	(其他卑金屬を 鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	87
鐵 線	—	32	—	77	13	2	—	9	36	—	—	—	169	3,026
リ ー ド ・ ワ イ ヤ ー	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6
鐵 リ ボ ン	—	57	—	137	8	—	—	11	2	—	—	—	215	4,349
帶 (箍 鐵)	—	20	428	700	188	—	—	—	1	1	—	—	1,338	33,297
パ ラ ゴ ン ・ ワ イ ヤ ー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	137
線 索	—	24	—	14	—	—	—	—	1	—	—	—	39	386
撚 合 線	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	38
バ ー ブ ド ・ ツ ウ イ ス ト ・ ワ イ ヤ ー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	—	134	90	282	—	—	—	—	1,171	—	—	22	1,699	24,956
特 殊 鋼 稅 表 一)	—	19	—	9	—	52	—	4	10	14	—	4	112	1,688
〃 (稅 表 二)	—	4	—	2	—	11	—	2	—	—	—	—	19	1,140
鐵 道 車 輪 及 車 軸	—	—	—	—	—	—	—	—	24	—	—	—	24	192
鐵 道 車 輛 用 タ イ ヤ ー	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	8	468
鐵 道 車 輛 用 グ ラ フ イ ツ ク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合 計	—	4,902	1,579	7,280	1,125	235	210	229	6,100	15	—	216	21,891	371,523
フ ェ ロ ・ マ ン ガ ニ ー ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,622
フ ェ ロ シ ル コ ン 及 シ リ コ ス ビ ー ゲ ル ア イ ゼ ン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60
其 他 の 不 可 鍛 成 鐵 合 金	—	—	—	4	—	—	—	12	—	5	—	3	24	467
シ ー ト バ ー (テ イ ン バ ー を 含 む)	—	—	777	1,794	—	—	—	—	1,321	—	—	—	3,892	56,554
イ ン ゴ ツ ト ・ フ ル ー ム ・ ビ レ ツ ト 及 ス ラ ツ プ	—	—	—	308	—	—	—	—	—	—	—	—	308	6,704
ケ ツ グ ス テ ー ル 及 パ ン プ ス テ ー ル	—	—	—	—	—	—	—	28	—	—	—	—	28	304
其 他 の 塊 及 錠 鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	—	—	777	2,106	—	—	—	40	1,321	5	—	3	4,252	65,711
銑 屑 及 故 鐵	—	81	—	—	—	—	—	508	—	4,351	13,181	1,951	20,072	322,837
	—	642	—	201	101	—	—	—	19,066	2,250	3,545	8,264	34,069	433,857

昭和 5 年 10 月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (其一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		角鋼		型鋼の部		mm mm		線材の部		線材	
丸鋼		平鋼		等邊山形鋼		工形鋼		溝形鋼		鋼板 (0.7mm以下)	
3/16"	66	3/16"	11	3/4"	44	165x75	20	17	5	鋼管の部	
7/32"	1	1/4"	3	1"	22	180x90	16	19	3	鋼管	
1/4"	8	5/16"	3	1 1/4"	20	200x75	35	1mm	4	線材	
5/16"	5	3/8"	8	1 1/2"	20	計	352	1.5	71	3mm	2
3/8"	2	7/16"	4	計	106	造船材料		1.7	30	4	4
7/16"	2	1/2"	9	2"	2	6"x4 1/2"	50	2	10	4.5	2
1/2"	9	9/16"	3	3"	19	12x5	19	2.2	15	5	353
5/8"	6	5/8"	16	3 1/2"	2	20x6 1/4	201	3	21	10	3
3/4"	4	11/16"	3	4"	1	計	250	其他	10	B.W.G.No.6	358
13/16"	2	3/4"	14	5"	8	造船材料		計	1,165	5	2,479
7/8"	6	7/8"	9	6"	5	溝形鋼		造船材料		3	11
1"	9	1"	4	75mm	5	5"x1.75"	30	1/16"	6	2	9
1 1/8"	10	1 1/4"	3	90	76	10x2.6	31	3/32"	2	1	80
1 1/4"	40	1 1/2"	4	100	4	5"	30	計	8	0	49
1 3/8"	7	1 3/4"	2	130	2	6"	40	計	1,173	00	178
1 1/2"	7	2"	8	150	5	8"	57	鋼板 (0.7mm以下)		000	52
1 3/4"	19	2 1/2"	3	180	10	mm mm		8sheets	8	線材合計 3,580	
2"	22	3"	2	計	143	250x100	53	10	520	鋼管の部	
2 1/2"	8	3 1/2"	3	不等邊山形鋼		計	241	11	31	鋼管	
2 3/4"	12	5"	4	4"x3"	31	造船材料		13	23	鋼管	
2 1/2"	2	7mm	2	計	31	10"x4"	48	B.W.G.No. 23	20	鋼管	
2 5/8"	10	13	6	造船材料		12x3 1/2"	8	28	177	鋼管	
2 3/4"	14	計	127	造船材料		15x4"	70	30	1,010	鋼管	
3"	14	平鋼		造船材料		計	126	計	1,789	鋼管	
3 1/16"	2	3/8"	2	造船材料		T形鋼		電氣鐵板		鋼管	
3 1/4"	8	1/2"	30	5"x3"	7	1"x1"	5	0.014"	72	鋼管	
3 1/2"	11	5/8"	29	5x3 1/2"	10	1 1/2x1 1/2"	5	0.017	153	鋼管	
3 3/4"	7	3/4"	36	6x3"	15	mm mm		0.35mm	20	鋼管	
4"	9	7/8"	22	6x3 1/2"	2	135x40	12	0.5	15	鋼管	
4 1/4"	8	1"	14	7x3 1/2"	1	計	22	計	260	鋼管	
4 3/8"	1	1 1/4"	4	mm mm		造船材料		縞鋼板		鋼管	
4 1/2"	22	1 1/2"	16	90x75	1	6"x6"	34	1/4"	15	鋼管	
4 3/4"	14	1 3/4"	28	110x75	1	計	34	5mm	16	鋼管	
5"	20	2"	17	130x75	2	計	56	計	31	鋼管	
5 1/4"	18	2 1/4"	5	130x90	4	造船材料		鋼力板		鋼管	
5 1/2"	34	2 1/2"	39	150x90	17	パイリングシート		100 lbs	132	鋼管	
6"	29	3"	2	160x90	2	計	956	170	304	鋼管	
6 1/4"	21	3 1/2"	1	165x75	8	型鋼合計	2,472	40sheets	2	鋼管	
6 1/2"	17	3 3/4"	1	180x90	2	條鋼合計	3,576	50	7	鋼管	
7"	23	4"	3	200x75	23	鋼板の部		60	16	鋼管	
7 1/2"	20	4 1/2"	1	200x90	25	鋼板 (0.7mm超)		70sheets	4	鋼管	
8"	52	5"	1	230x90	65	1/2"	5	80	3	鋼管	
8 1/4"	9	6"	1	250x90	10	3/16"	168	90	1	鋼管	
8 1/2"	4	7mm	2	300x90	16	3/32"	78	100	19	鋼管	
9 1/2"	12	13	2	計	211	5/8"	173	Mixed	34	鋼管	
10"	20	16.5	1	球山形鋼 (造船材)		3/2"	198	oil size	1,835	鋼管	
10 1/2"	2	18	1	6"x3"	5	1/4"	32	Others	1,397	鋼管	
6mm	1	20	7	7x3	16	3/8"	10	計	3,754	鋼管	
8	4	22	2	7x3 1/2"	4	1/2"	3	鋼板合計	6,997	鋼管	
10	4	26	2	8x3	43	5/8"	13	軌條及附屬品の可		鋼管	
12	3	30	1	8x3 1/2"	2	B.W.G.No. 10	236	軌	條	鋼管	
13	2	計	272	9x3 1/2"	91	13	5	9 lbs	29	鋼管	
28	2	其他の棒鋼		10x3 1/2"	77	13 1/2"	2	Elevator 用	13	鋼管	
計	691	計	1	11x3 1/2"	1	14	10	計	42	鋼管	
造船材料		造船材計	12	12x3 1/2"	42	15	2	軌附合計	42	鋼管	
2 1/2"	1	合 計	13	計	242	16	61			鋼管	
合 計	692	棒鋼合計	1,104							鋼管	

昭和5年10月中當所品種寸法別生産高

(其二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
其他鋼材の部		鋼板 其他	33	外輪及車軸		シート 2,400	フェロ クロム 其他	178	ケツク スチール	34	
特殊鋼			計	計	計						
丸	123	計	234	其他鋼材		イン ゴット	28	29			
角	19		輪	計	計						
平	56	計	34	鋼材總計							
				16,167							

昭和5年10、11月渡先物契約數量表

(單位噸)

丸鋼			角鋼			平鋼			等邊山形鋼		
寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
6mm	—	513	12mm	30	107	3 ⁵ / ₈ "	20	395	40mm	15	463
8	—	310	16	40	174	19	115	1,062	45	—	177
9	3,290	23,349	19	35	158	22	65	897	50	666	1,178
11	—	10	22	5	54	25	85	951	65	20	270
12	—	687	25	20	137	32	85	809	75	34	279
50	55	336	28	5	43	38	—	508	90	—	25
55	5	259	32	10	219	44	—	250	100	5	86
60	15	98	38	40	345	50	—	831	130	523	1,902
65	10	218	44	25	173	55	—	15	150	343	2,850
70	5	93	50	15	129	65	—	788	200	—	185
75	10	162	65	10	88	75	147	824	20mm	10	10
80	5	71	75	10	217	90	5	291	25	15	15
90	25	160	60	5	93	100	15	217	30	25	25
95	10	53	100	10	17						
100	20	106									
合計	3,450	26,425	合計	260	1,954	合計	537	7,838	合計	1,656	7,465

不等邊山形鋼			溝形鋼			工形鋼			鋼板		
寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
2 ¹ / ₂ " × 2"	—	48	5" × 2 ¹ / ₂ "	320	1,123	6" × 3"	—	20	1.6mm	493	5,217
5 × 4	115	161	6 × 2 ¹ / ₂	65	504	6 × 5	—	40	2.3	131	1,194
6 × 3 ¹ / ₂	—	105	6 × 3	175	1,013	14 × 6	—	85	3.2	648	4,755
6 × 4	—	276	7 × 3	40	334	16 × 6	—	80	4.5	221	748
mm mm			7 × 3 ¹ / ₂	20	401	18 × 7	75	606	6	—	250
75 × 50	30	165	8 × 2 ¹ / ₂	—	65	20 × 7 ¹ / ₂	100	425	8	—	61
75 × 65	10	170	8 × 3	5	185	24 × 7 ¹ / ₂	44	330	9	—	56
90 × 75	10	61	8 × 3 ¹ / ₂	27	293	mm mm			12	—	18
100 × 75	—	62	mm mm			100 × 75	45	70			
125 × 75	55	184	75 × 40	—	105	125 × 75	60	160			
125 × 90	20	194									
150 × 90	169	259	100 × 50	—	418	150 × 125	41	46			
150 × 100	239	924	230 × 80	45	401	200 × 100	115	170			
65 × 50	10	10	230 × 90	50	485	200 × 150	5	118			
75 × 40	36	36	250 × 90	30	418	230 × 100	25	130			
100 × 50	10	10	300 × 90	165	447	250 × 125	135	587			
			380 × 100	20	194						
						300 × 150	324	1,391			
						350 × 150	40	90			
						400 × 150	171	320			
						150 × 75	118	148			

	定期	先物	合計	累計
條鋼	8,867	別て濟	8,867	57,549
鋼板	1,493	表發み	1,493	12,299
合計	10,360	に表	10,360	69,848
合計	21,363	48,485	69,848	

合計 704 2,665 合計 962 6,386 合計 1,298 4,816 合計 1,493 12,299

備考 累計は本年4月渡よりとす

昭和5年11、12月渡定期先物契約數表 (單位噸)

丸 鋼			角 鋼			平 鋼			等邊山形鋼		
寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
6mm	—	513	12mm	—	107	3½	—	395	20mm	—	10
8	—	310	16	—	174	19mm	5	1,067	25	20	35
9	3,108	26,457	19	3	3,161	22	—	897	30	5	30
11	—	10	22	—	54	25	5	956	40	5	468
12	—	687	25	2	139	32	—	809	45	—	177
50	—	336	28	—	43	38	—	508	50	553	1,731
55	—	259	32	—	219	44	—	250	65	—	270
60	—	98	38	—	345	50	—	831	75	130	409
65	—	218	44	—	173	55	—	15	90	55	80
70	—	93	50	—	129	65	19	788	100	35	121
75	—	162	65	—	88	75	—	843	130	353	2,255
80	—	71	75	—	217	90	—	291	150	285	3,135
90	—	160	90	—	93	100	—	217	200	—	185
95	—	53	100	—	17						
100	—	106									
合計	3,108	29,533	合計	5	1,959	合計	29	7,867	合計	1,441	8,906

不等邊山形鋼			溝形鋼			工形鋼			鋼 板		
2½" × 2"	—	48	5" × 2½"	281	1,404	6" × 3"	—	20	16mm	614	5,858
5 × 4	45	206	6 × 2½	120	624	6 × 5	—	40	23	164	1,358
6 × 3½	—	105	6 × 3	335	1,348	14 × 6	—	85	32	806	5,561
6 × 4	—	276	7 × 3	63	397	16 × 6	—	80	45	208	956
mm mm			7 × 3½	35	436	18 × 7	95	701	6	15	265
65 × 50	—	10	8 × 2½	—	65	20 × 7½	20	445	8	5	66
75 × 40	—	36	8 × 3	—	185	24 × 7½	127	457	9	—	56
75 × 50	—	165	8 × 3½	26	319	mm mm			12	—	18
75 × 65	—	170	mm mm			100 × 75	—	70			
90 × 75	—	61	75 × 40	—	105	125 × 75	—	160			
100 × 50	—	10	100 × 50	—	418	150 × 75	—	148			
100 × 75	—	62	230 × 80	30	431	150 × 125	14	60			
125 × 75	10	194	230 × 90	60	545	200 × 100	120	290			
125 × 90	—	194	250 × 90	80	498	200 × 150	83	201			
150 × 90	135	394	300 × 90	84	531	230 × 100	80	210			
150 × 100	180	1,104	380 × 100	75	269	250 × 125	135	722			
						300 × 150	400	1,791			
						350 × 150	48	138			
						400 × 150	100	420			

	定期先物	合計	累計
條 鋼	7,263	101	7,364
鋼 板	1,628	211	1,839
合計	8,891	312	9,203
鋼 板 合計	30,254	48,797	79,051

合計	370	3,035	合計	1,189	7,575	合計	1,222	6,038	合計	1,839	14,138
----	-----	-------	----	-------	-------	----	-------	-------	----	-------	--------

備考 1、一、二 中形、及 一、二、小形に對する定期契約數を含まず 1、累計は本年4月渡以降とす

昭和 5 年 10 月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

區分 寸法	丸 鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	
5.5mm	—	—	—	—	—	—	1	1	1
6	—	5	5	10	—	—	4	4	14
7	—	—	31	31	—	—	—	—	31
7.5	—	—	—	—	—	—	3	3	3
8	—	5	—	5	—	—	—	—	5
9	1,640	1,326	173	3,139	—	—	1	1	3,140
10.5	—	—	—	—	—	—	1	1	1
11	60	115	—	175	—	—	—	—	175
12	160	120	—	280	—	—	16	16	296
15	—	—	—	—	—	—	5	5	5
16	—	—	—	—	—	—	6	6	6
18	—	—	—	—	—	—	3	3	3
19	—	—	—	—	—	—	29	29	29
21	—	—	—	—	—	—	1	1	1
22	—	—	—	—	—	—	21	21	21
24	—	—	—	—	—	—	2	2	2
25	—	—	—	—	—	—	1	1	1
28	—	—	—	—	—	—	3	3	3
32	—	—	—	—	—	—	3	3	3
38	—	—	—	—	—	—	11	11	11
44	—	—	—	—	—	—	8	8	8
48	—	—	—	—	—	—	3	3	3
50	10	—	—	10	—	—	11	11	21
55	21	—	—	21	—	—	8	8	29
60	33	—	—	33	—	—	—	—	33
65	20	—	—	20	—	—	13	13	33
70	—	—	—	—	—	—	2	2	2
75	23	—	—	23	—	—	7	7	30
80	1	—	—	1	—	—	8	8	9
90	10	117	2	129	—	10	18	28	157
95	—	—	—	—	—	—	1	1	1
100	—	—	—	—	—	—	1	1	1
105	—	—	—	—	—	—	1	1	1
110	—	—	—	—	—	—	4	4	4
112	—	—	—	—	—	—	—	—	—
115	—	—	—	—	—	—	5	5	5
120	—	—	—	—	—	—	3	3	3
130	33	1	—	39	—	—	1	1	40
140	—	—	—	—	—	—	2	2	2
150	16	—	—	16	—	—	—	—	16
160	12	—	—	12	—	—	—	—	12
170	3	—	—	3	—	—	—	—	3
180	34	—	—	34	—	—	2	2	36
190	33	6	—	44	—	—	—	—	44
200	19	—	—	19	—	—	—	—	19
丸鋼計	2,133	1,684	211	4,044	—	10	229	219	4,263

區分 寸法	角 鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	神阪 揚	京濱 揚	其他	計	
12mm	—	10	5	15	—	—	—	—	15
16	—	5	—	5	—	—	—	—	5
19	5	15	30	50	—	—	—	—	50
22	5	13	20	38	—	—	—	—	38
25	1	—	20	21	—	—	—	—	21
28	—	3	—	3	—	—	—	—	3
32	10	—	—	10	—	—	—	—	10
38	15	25	—	40	—	—	—	—	40
44	5	3	—	8	—	—	2	2	10
50	—	5	—	5	—	1	1	2	7
65	—	—	—	—	—	—	2	2	2
75	7	—	—	7	—	—	—	—	7
角鋼計	48	79	75	202	—	1	5	6	208
平 鋼									
19mm	23	13	20	56	—	—	—	—	56
22	9	—	5	14	—	—	1	1	15
25	15	3	4	22	—	—	—	—	22
32	10	3	5	18	—	—	—	—	18
38	125	125	1	251	—	—	5	5	256
44	45	43	1	89	—	—	—	—	89
50	120	190	14	324	—	—	2	2	326
55	—	10	2	12	—	—	—	—	12
65	75	315	14	404	—	—	1	1	405
75	—	14	—	14	—	—	—	—	14
90	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100	—	—	—	—	—	—	1	1	1
3½"	—	—	2	2	—	—	1	1	2
平鋼計	422	716	68	1,206	—	—	11	11	1,217
合計	2,608	2,490	354	5,452	—	11	225	236	5,688

昭和 5 年 10 月中當所製品揚地別發送高

(單位噸)

品名\區分	揚 地 別										合 計	
	阪神 地方	京濱 地方	當 所 渡	伊勢 灣 東 海 地 方	山 陰 北 陸 地 方	內 海 沿 岸 四 方 地 方	奧 羽 地 方	關 門 九 州 地 方	北 海 道 太 方 地 方	滿 鮮 支 那 地 方		臺 灣 其 他
鋼材	官廳	412	1,952	80	117	5	448	225	831	—	—	5,061
	民間	16,884	13,159	5,985	993	—	—	7	669	150	991	39,239
鋼片	官廳	17,296	15,111	6,065	1,110	5	448	232	1,500	150	1,766	44,300
	民間	78	319	1,328	—	—	411	—	1,997	—	—	4,333
副製品	官廳	49	391	20,208	225	—	1,395	—	3,519	—	—	25,787
	民間	17,423	15,721	27,601	1,335	5	2,254	232	7,016	150	1,766	74,120

昭和5年10月中當所品種寸法別生産高

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		平鋼		200×150 199		9 266		11 115		附屬品	
丸鋼		19mm 359		300×150 82		9.5 5		14 96		50kg用T.P 1,869	
6.5 7		22 9		18'×7' 1,497		10 123		15 6		" F.P 708	
9 5,830		75 353		20×7½ 457		11 31		16 39		3) " 1,079	
10 15		90 1		計 3,226		12 82		19 38		スパイキ 113	
11 9		計 722		溝形鋼		13 55		25 3		トラツクボ- 4	
12 5		帶鋼		mm mm		14 12		3) 1		計 3,773	
13 3		75×40 238		100×50 604		15 6		計 397		軌附合計 28,170	
16 10		100×50 604		380×100 367		16 107		双物用鋼板		線材及製釘材の部	
17 2		5'×2½" 168		5'×2½" 168		18 3		3.2mm 5		線材	
19 2		6×2½ 115		計 2,639		19 23		4 5		5.5mm 4,239	
22 9		型鋼の部		6×3 42		20 5		計 10		計 4,239	
25 16		等邊山形鋼		6×3½ 9		21 1		防楯鋼板		製釘材の部	
26 23		20mm 225		7×3½ 25		22 7		4.2mm 2		5.5mm 3,186	
28 12		25 478		8×2½ 140		25 147		計 2		計 3,186	
32 23		30 481		8×3 764		28 42		未剪斷普通鋼板		線釘合計 7,425	
36 4		40 104		8×5½ 96		31 9		2.3mm 13		其他鋼材の部	
38 53		50 1,131		8×4 51		32 8		3.2 191		車輪 105	
42 12		60 5		10×4 20		33 5		6 327		鋼線 4)	
44 7		75 489		計 2,639		38 18		8 126		座鐵 15	
50 24		90 45		型鋼計 13,119		5) 2		9 630		外輪 46)	
55 101		100 298		條鋼合計 24,601		¼" 2		11 57		ボ-ルト ナツト 19	
60 108		130 722		鋼板の部		⅝ 1		12 362		リベット 83	
65 214		計 3,973		鋼板(0.7mm以下)		½ 1		16 192		不良鋼板 38	
70 185		不等邊山形鋼		B.W.G.No.		¾ 1		19 188		普通鋼品 1	
75 236		mm mm		33 35		44" 4		計 2,006		鍛成鋼品 45	
80 167		65×50 267		31 39		.46 4		二級品		其他鋼材合計 815	
90 264		75×50 19		30 465		.50 2		1mm 18		鋼材總計 75,873	
95 114		75×65 360		29 2		.74 2		1.6 13		本所 46,905	
100 62		9)×75 197		23 58		計 7,104		2.3 1		戸洞 17,569	
計 7,457		125×75 571		0.5mm 1		鋼板計 8,587		計 32		計 81,241	
火床用平鋼		125×90 640		13 sheets 85)		鐵力板		疵物鋼板		合金鐵	
mm mm mm		150×90 622		7 33		B.W.G.No.		1mm 1		フエロ 49	
4×10×70 12		150×100 416		計 1,483		33 975		1.6 3		シリソ 49	
計 12		4'×3½" 11		鋼板(0.7mm超)		31 716		2.3 1		計 49	
角鋼		5×4 142		1mm 157		3) 441		6 29		鋼塊	
12mm 178		6×3½ 11		1.2 1		29 70		8 19		普通鋼塊 108,411	
16 239		計 3,257		1.4 1		計 2,202		9 76		鑄造 " 1,505	
19 211		Z形鋼		1.5 6		編鋼板		10 25		電爐 " 1,262	
22 30		mm mm mm		1.6 2,090		4.5mm 2		11 15		甘塊 " 35	
25 174		130×80×70 11		1.9 4		6 23		12 25		計 111,213	
28 384		150×75×65 13		2 46		¼" 1		13 4		鋼片	
32 251		計 24		2.3 726		計 26		15 8		內部向 82,758	
38 560		T形鋼		2.5 1		硅素鋼板		16 1		外部向 1,547	
44 299		2'×2' 3		2.6 2		0.35mm 362		計 205		シートバー	
50 256		3×3 3		2.8 1		0.43 138		鋼板合計 14,862		內部向 8,348	
60 14		計 6		3 12		計 500		軌條及附屬品の部		外部向 1,831	
65 163		工形鋼		3.2 1,668		耳付鋼板		軌條		計 10,179	
70 1		mm mm		3.5 5		4.5mm 302		6k 433			
75 166		100×75 66		4 17		6 587		10 1,091			
80 2		125×75 96		4.5 760		8 6		22 378			
90 112		150×75 241		5 5		計 895		30 10,658			
100 237		150×125 195		6 567		ユニバーサル平鋼		37 11,515			
150 11		200×100 387		7 22		8mm 96		45 322			
160 2		計 3,290		8 81		10 3		計 24,397			

昭和5年9月民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼		1 3/16	11	2	116	3 3/8	5	3/4	4	1 3/4	208
		7/8	3,729	2 1/8	5	3 1/2	9	4	4	2	592
1/4"	641	1	3,120	2 1/4	78	3 3/4	1	1	37	2 1/2	354
5/16	7	1 1/8	266	2 3/8	6	4	5	2 1/2	3	3	113
3/8	630	1 1/4	967	2 1/2	78	其他	356	計	76	3 1/2	68
1/2	3,623	1 3/8	165	2 3/8	1	計	19,383	平	鋼	4	38
3/16	1	1 1/2	277	2 3/4	17	角				4 1/2	6
5/8	2,256	1 5/8	55	2 7/8	89	3"	24	1"	128	5	7
1 1/16	6	1 3/4	159	3	6	5"	4	1 1/4	79	其他	28
3/4	2,641	1 7/8	53	3 1/4	4	計		1 1/2	153	總計	1,774
											21,233

昭和5年10月契約高

(單位噸)

品種\區分	官廳小計		民間小計		10月中合計			本年度累計		
	噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額	噸當	噸數	金額	噸當
大中	5,028	443,637	6,661	440,570	11,689	884,207	75.64	35,738	2,858,660	79.99
小	306	39,127	2,924	177,851	3,230	216,978	67.18	13,493	1,150,204	88.27
鋼	120	17,000	7,478	432,057	7,598	449,057	59.10	28,616	2,015,927	70.45
條	1,081	152,056	9,412	498,304	10,493	650,360	62.00	61,711	5,126,772	83.08
板										
重軌條及附屬品	63	6,247	350	32,745	413	38,992	94.41	120,929	11,269,493	93.19
輕軌條及附屬品	155	14,840	2,955	214,624	3,110	229,464	73.78	10,822	972,876	89.90
線	—	—	15,380	1,113,360	15,380	1,113,360	72.39	43,801	3,374,344	77.04
黑板、硅素鋼板、	—	—	6,089	1,059,847	6,089	1,059,847	174.05	23,971	4,550,988	189.85
錳力板	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
車軸外輪鍛成品	4	840	8	974	12	1,814	151.17	4,214	1,064,282	252.56
工具鋼、特殊鋼	—	—	145	16,371	145	16,371	112.90	227	61,110	269.21
其他鋼材	—	—	—	—	—	—	—	92	21,019	228.47
鋼材小計	6,757	673,747	51,402	3,986,703	58,159	4,660,450	80.13	343,604	32,505,675	94.60
鋼片、鋼塊、	38	2,717	7,400	375,680	7,438	378,397	50.87	37,513	2,215,180	59.05
シートバー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以上計	6,785	676,464	58,802	4,362,383	65,597	5,038,847	76.81	381,117	34,720,855	91.11
短尺及屑鋼	93	4,290	2,554	107,239	2,647	111,529	42.13	25,130	1,405,264	55.92
以上計	6,888	680,754	61,356	4,469,622	68,244	5,150,376	75.47	406,247	36,126,119	88.93
副製品	—	6,026	—	204,671	—	210,697	—	—	2,567,467	—

昭和5年10月中3港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品種\區分	神戶	大阪	橫濱	10月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸鋼	402	71	225	698	1,409	18,073	58,760
角鋼	84	13	29	126	130	2,010	5,681
平等	209	1	60	270	518	8,702	13,849
不等	181	—	70	251	250	7,700	15,903
等山	212	—	31	243	100	4,730	3,865
溝工	188	—	179	367	56	4,525	8,444
形	30	35	186	251	—	8,659	17,540
鋼板(0.7mm超)	563	51	558	1,172	1,199	35,804	38,620
"(0.7mm以下)	1,552	71	165	1,788	461	27,363	69,178
錳力	1,276	490	1,988	3,754	3,433	47,166	53,450
軌線	42	—	—	42	394	9,227	26,475
材料	2,499	429	650	3,578	4,409	56,074	124,302
シートパイ	234	—	722	956	16	23,446	18,521
鋼管	241	86	1,331	1,658	2,099	22,432	51,542
其他	537	5	486	1,028	1,067	18,527	27,239
計	8,250	1,252	6,680	16,182	15,541	294,438	533,369
硫磺	4,472	—	2,539	—	—	—	—
炭酸	—	—	—	—	—	—	—
ナフ	50	—	—	—	—	—	—